

発議第4号

まちづくり政策提言の提出について

標記の議案を別紙のとおり、遊佐町議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和6年9月10日

遊佐町議会

議長 高橋冠治 殿

提出者 遊佐町議会議員

賛成者 遊佐町議会議員

同

同

同

那須正幸

今野博義

菅原和幸

佐藤俊太郎

遊佐亮太

(別 紙)

まちづくり政策提言

遊佐町において人口減少は大きな課題であり、この課題には多方面にわたる分野の施策が求められている。

本町では、第8次遊佐町振興計画の第9期実施計画を策定中であり、その計画に沿って、町民、議会、行政が一体となり、具現化に向かって進む努力が必要である。

遊佐町議会は、今後の町政に生かすべき政策を下記のとおり提案する。

記

(防災・災害対策とDX推進)

1. 災害時の早急な避難所開設を目指すにあたり、命を守るための地域防災計画の強化と、実効性のある自主防災組織作りの推進を進められたい。
2. DX化の必要性をしっかりと見極め、災害時の緊急速報メールの活用など、町民にとって迅速でわかりやすく伝わりやすい防災対策や情報の提供につとめられたい。
3. 旧小学校校舎の転用にあたっては、各単体機能の転用・移転での縮小にとどめることなく、避難所機能を兼ね備えた防災拠点の施設となるよう総合的な防災計画に基づく転用に最大限つとめられたい。

(医療福祉の充実)

1. 高齢化に伴い、町民の医療機関や介護施設への依存度が高まると推察されるなか、医師や介護支援者の不足などが懸念される。遊佐医会、歯科医師会、役場間で現状を把握し、将来の展望を示されたい。
2. 包括支援センター、社会福祉協議会、町内の介護支援事業者、役場間で超高齢社会の現状をふまえたDX推進の必要性を早急に検討されたい。

(人口減少問題)

1. 「子育てしやすい遊佐町」の実現に向け、「こども基本法」の定める「市町村こども計画」の策定につとめられたい。
2. 賃貸住宅の供給不足の現状をふまえ、若者世代や子育て世代が移住・定住しやすいよう、増加する空き家対策としての賃貸住宅の拡充につとめられたい。
3. 通学や通院に利用できるよう、町内全域にわたる「デマンドタクシー」の拡充及び休日を含め庄内地方広域に利用できる交通機関の確保につとめられたい。

(遊佐町公共施設等の適正管理)

1. 町有施設を一般事業者に貸し出すにあたっての町の基本的な考え方を定め、一般事業者の採択方法・採択決定機関は条例などにより明確に定められたい。

(自然環境の保護と「ゼロカーボンシティ宣言」)

1. 平成2年以降に植林され適切に管理されている森林はCO₂吸収源としてカウントされる。適正な森林の管理は豪雨による災害防止につながるとされることを踏まえ、令和6年度に新設された「エネルギー政策推進室」を中心に、関係課が連携し森林吸収源の必要性について検討されたい。
2. 町内の森林の大半は、平成25年制定された山形県水資源保全条例に基づく水資源保全地域に指定されていることを踏まえ、先人から受け継がれてきた鳥海山の恵みを将来に引き継ぐための森林整備に関連する方針を明確にし、関連する事業を推進されたい。

令和6年9月10日

遊佐町議会議長 高 橋 冠 治

遊佐町長 松 永 裕 美 殿